



本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
本資料の権利は当社に帰属します。無断複製を行わないようお願い致します。

第7期(2005年3月期)決算説明会資料

2005年5月13日

株式会社ビーマップ



ビーマップの事業領域

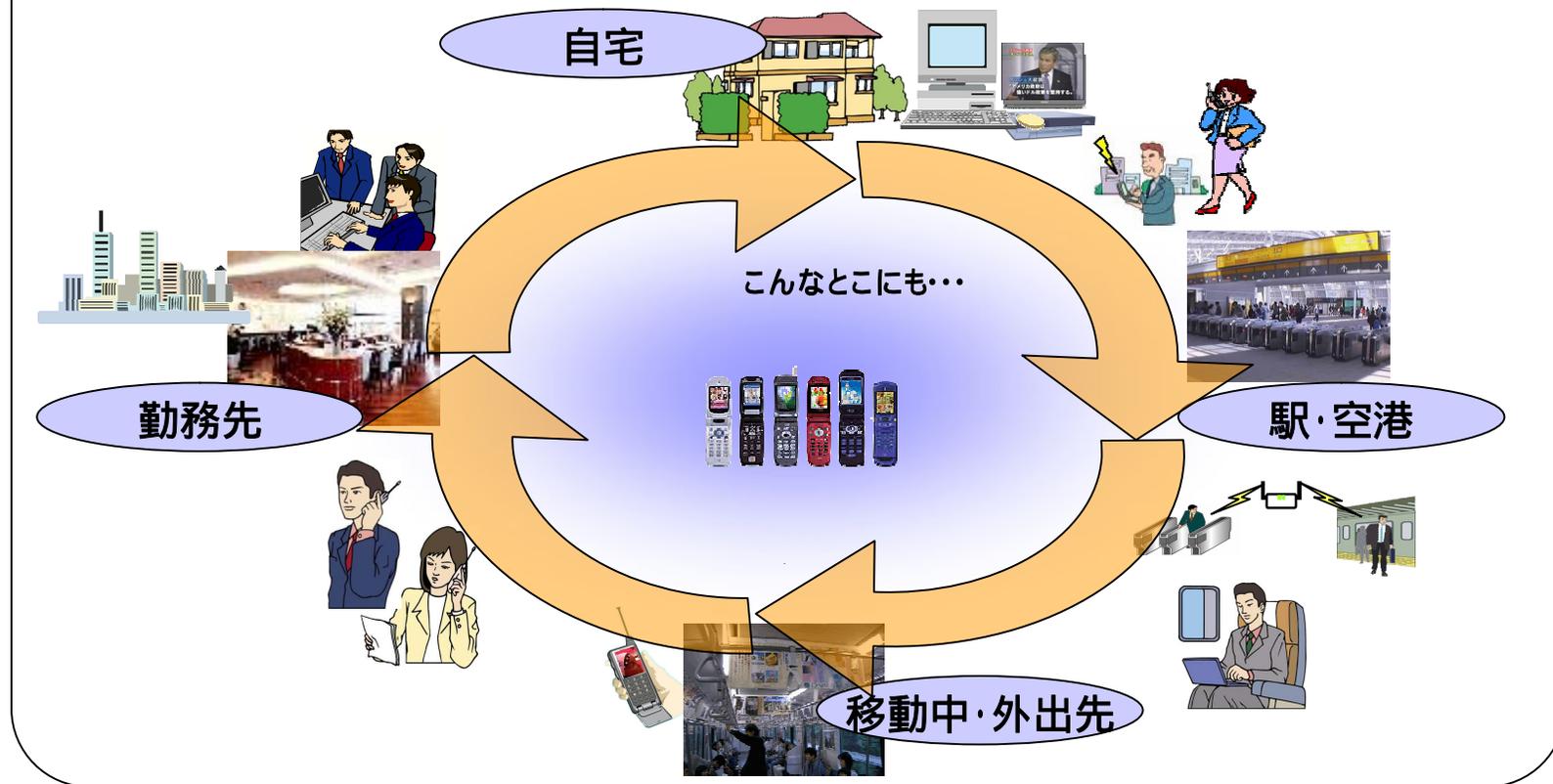
ビーマップの事業ドメインは

多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にする
ソフトとサービスの提供

Best Mobile Application Producer

ビーマップのビジネス機会・事業ドメイン

移動者マーケティングにおいて、社会インフラと情報端末を
結びつける仕組み・サービスを提供する



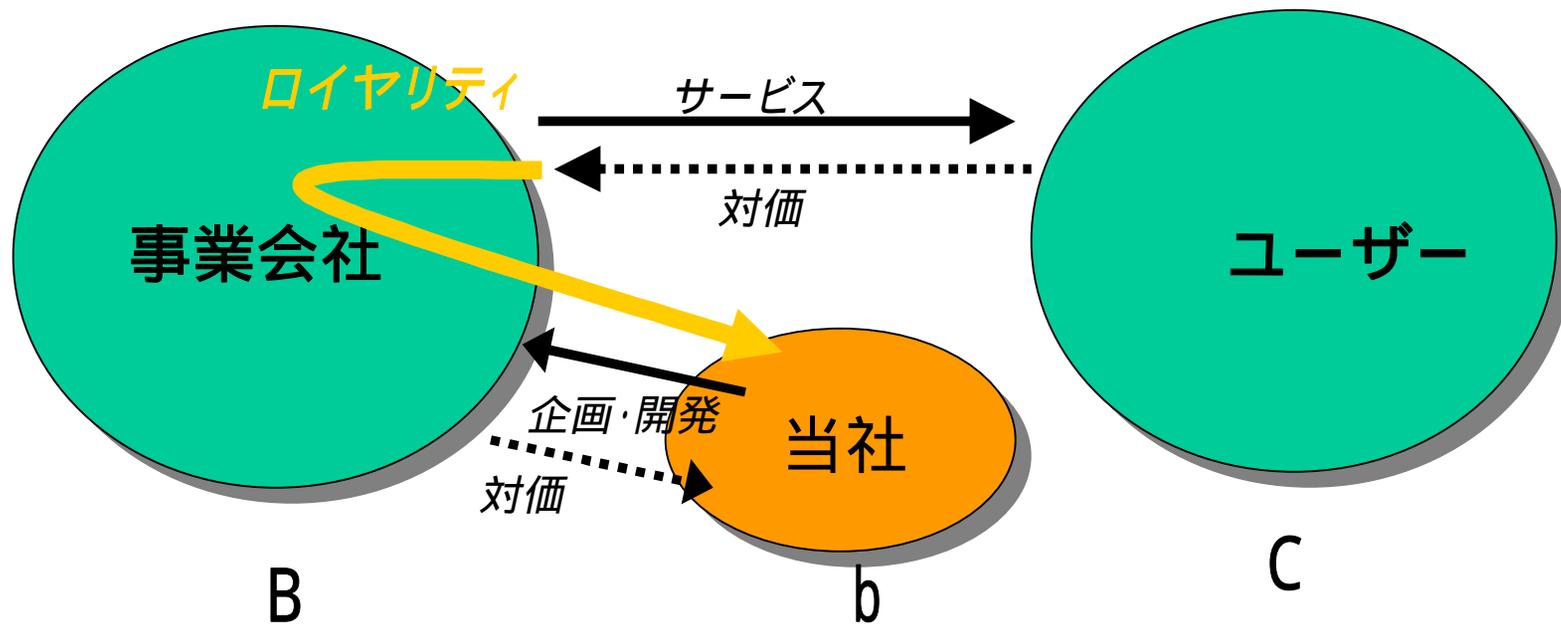
当社のビジネス展開

	事業分野	製品・サービス	業務内容・事業展開状況
従来からの取組み事業	交通関連分野	「JRトラベルナビゲータ」	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道等交通機関の経路探索技術をJR東日本予約サイト(駅ネット)に提供 「トラベルナビゲータ」の企画開発・運用から業務パッケージへの展開を狙う
	位置情報インフラ提供分野	「b-walker」 「b-walker SFA/FFA」	<ul style="list-style-type: none"> 位置情報連携携帯地図情報サービスとしてPDA向け搭載およびライセンス提供 SFA/FFA業務パッケージへの応用
	次世代インフラ分野	「モニタリング倶楽部」	<ul style="list-style-type: none"> 遠隔地カメラ監視のASPサービス、
		「@写メール」 「AirCompass」	<ul style="list-style-type: none"> Vodafoneカメラ付携帯電話の画像転送システムの開発・運用保守 無線LANコンテンツ配信システムの開発運用、関東主要駅を中心にエリア拡大
	生活情報分野	広告配信システムASP	<ul style="list-style-type: none"> マーケット縮小により2004年9月に終了
その他の分野	「BeView」	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話用の画像ビューワー開発 	
+			
新規分野企画	無線LAN配信インフラ事業	「通勤テレビ」	<ul style="list-style-type: none"> 録画したTV番組をサーバーに蓄積し、外出先でダウンロード・閲覧可能にするサービス 実証実験を完了し今秋のサービスインを目指す、実用新案取得済み、特許申請中
	携帯無線IP電話の実証事業	「メコンプロジェクト」	<ul style="list-style-type: none"> JETRO採択案件として、タイ北部にて広域無線LAN・IP電話の実証実験 将来における、ビジネス立ち上げ支援などのサービス提供機会を探求



現在のビジネスモデル btoBtoC型

- 業界大手企業等とのアライアンスによりモバイルコンテンツインフラ(経路探索、位置情報等の技術)及び付随サービスを提供。



ビーマップの主要クライアント・パートナー

- クライアント・ビジネスパートナーと構築したネットワークで、新たなユーザーニーズ・用途に対応。

新たなユーザーニーズ・用途

 **BeMap** 企画開発・
コーディネーション

クライアント・ビジネスパートナーとのネットワーク

通信キャリア系



交通機関系



アプリケーション /コンテンツ系



端末・機器系



各種機関



2005年3月期の業績

2005年3月期の主要アクション

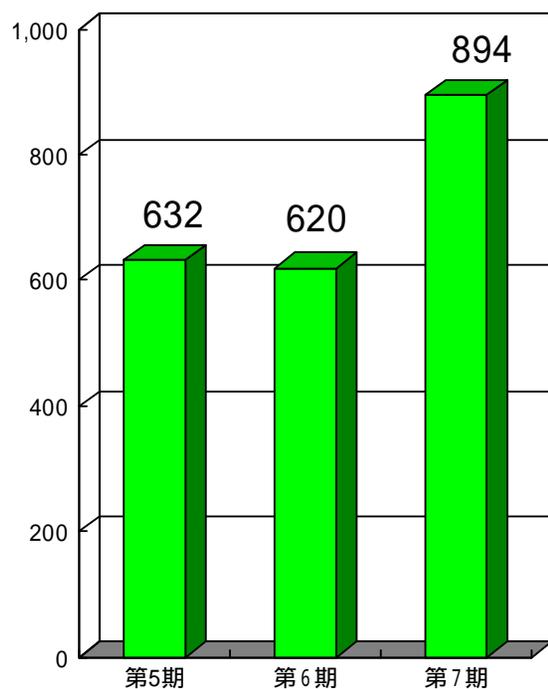
2005年3月期

- 4月：インターネットを活用した位置情報連携地図活用サービス「b-walker」発売開始
- 4月：遠隔監視ソリューション「モニタリング倶楽部」の機能向上
- 5月：無線LANコンテンツ配信システム「AirCompass」JR東日本主要駅でサービス開始
- 5月：無線LAN位置情報システムを開発、「b-walker」と連携
- 7月：関連会社クレッシェンドにて個人投資家向け投資顧問サービス「株道」開始
- 8月：(株)Accessと、無線LAN、非接触ICカード、近距離無線分野において業務提携
- 9月：日本貿易振興会より先導的貿易投資環境整備実証事業(J-FRONT)を受託、タイ北部で実証実験
- 9月：モニタリング倶楽部、ASP型強化版(DNCモニタリングASP)を展開
- 12月：(株)セルシスと共同で、3G携帯向け画像ビューアを開発、販売
- 12月：NTTブロードバンドプラットフォーム(株)と共同で、PC向けコンテンツシンクロサービスの提供を開始
- 2月：「通勤テレビ」実証実験開始
- 3月：MiTAC International Corp.社に、位置情報活用パーソナルナビゲーションを提供
- 4月：第三者割当増資による資本強化（約5億円）
- 4月：(株)フレームワークスタジオ子会社化に関する社内取締役会決議

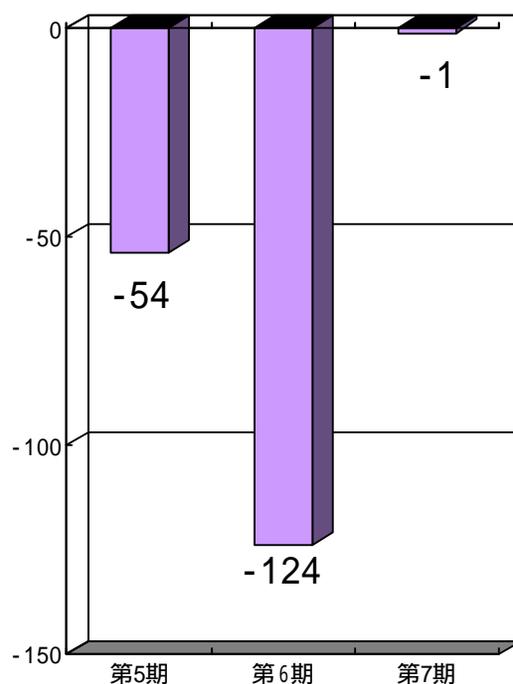
売上高及び損益の推移

- 売上は、位置情報分野、次世代(遠隔監視)の躍進により大きく増加。
- ただし収益性が低めのため、損益はほぼブレークイブンの水準。

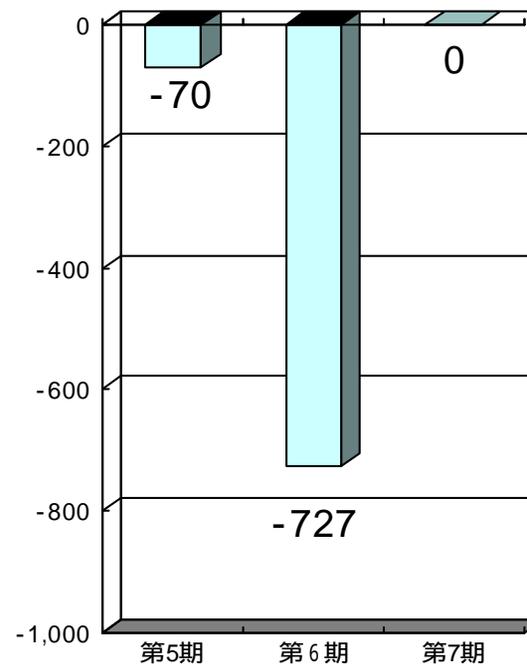
売上高



営業損益



当期純損益



(単位:百万円)

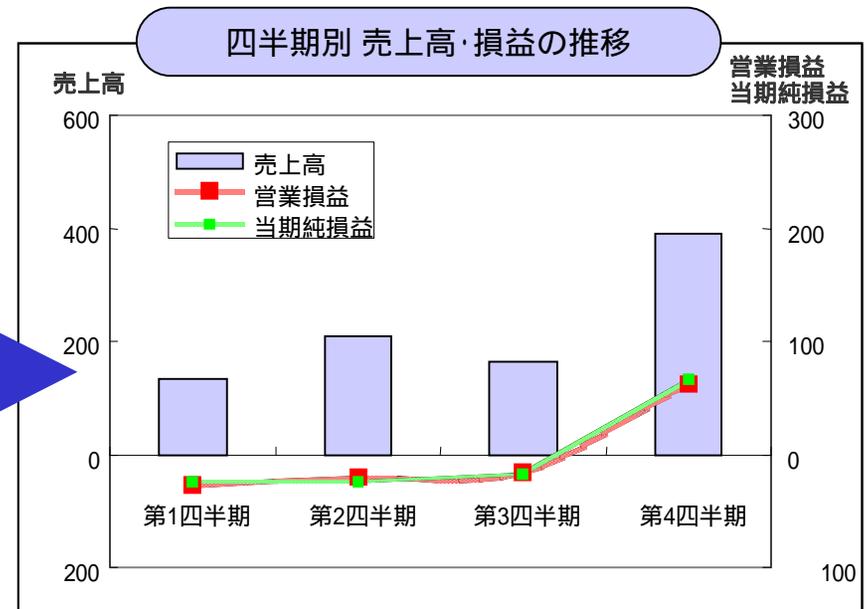
第7期の業績及び四半期別売上推移

- 売上高は前年度比44.2%増加。
- btoBシフト・新規案件立ち上がりに伴い、第4四半期に偏重の傾向。
(売上高391百万 全体の43.7%、営業利益62百万)

業績比較	第6期 (2004年3月)	第7期 (2005年3月)	前年同期比	
			金額	百分率
売上高	620	894	274	44.2%
売上総利益	88	193	105	119.3%
売上総利益率	14.2%	21.6%	-	-
販売管理費	213	195	18	-8.5%
販売管理費比率	34.4%	21.8%	-	-
営業損益	124	1	123	-99.2%
経常損益	134	5	129	-96.3%
当期純損益	727	0	727	-100.0%

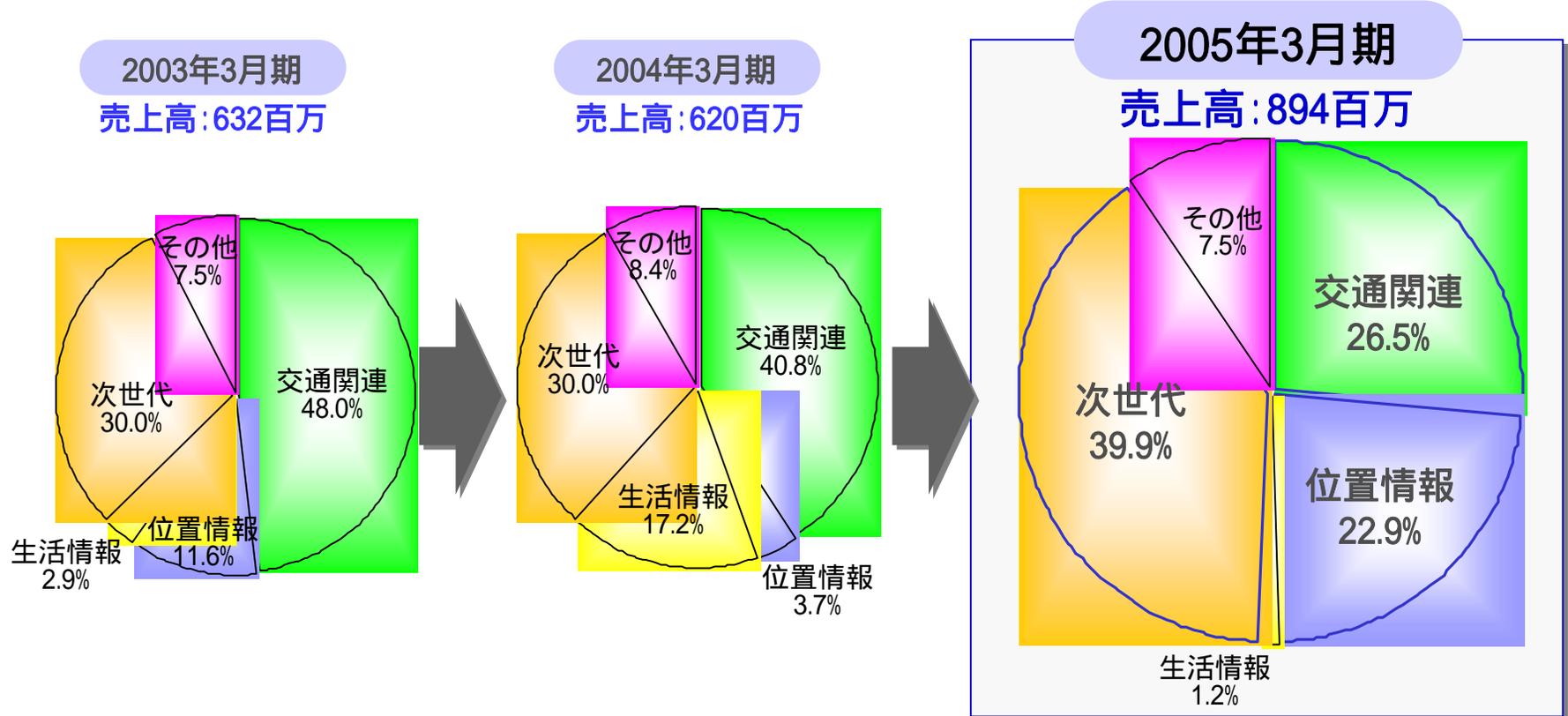
(単位:百万円)

売上高・利益とも
第4四半期に集中



分野別売上構成の推移

- 位置情報、次世代(遠隔監視)が事業として立ち上がる。
- 「3本柱」による全体収益安定化の基盤が整いつつある。



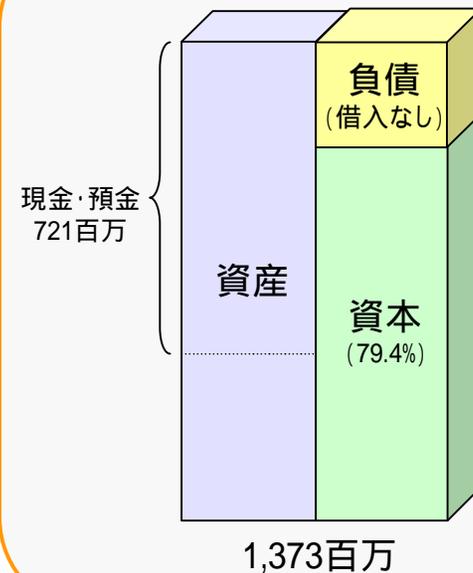
バランスシート状況

- 資産合計1,373百万円、うち現金及び預金は721百万。
- 借入金はなく、無借金経営を継続。自己資本比率79.4%。

(単位:百万)

	第5期 (2003年3月)	第6期 (2004年3月)	第7期 (2005年3月)
資産合計	868	1,290	1,373
うち現金・預金	547	854	721
流動比率(%)	88.7%	81.8%	81.7%
負債合計	86	237	282
資本合計	781	1,052	1,091
自己資本比率(%)	90.0%	81.6%	79.4%

2005年3月バランスシート



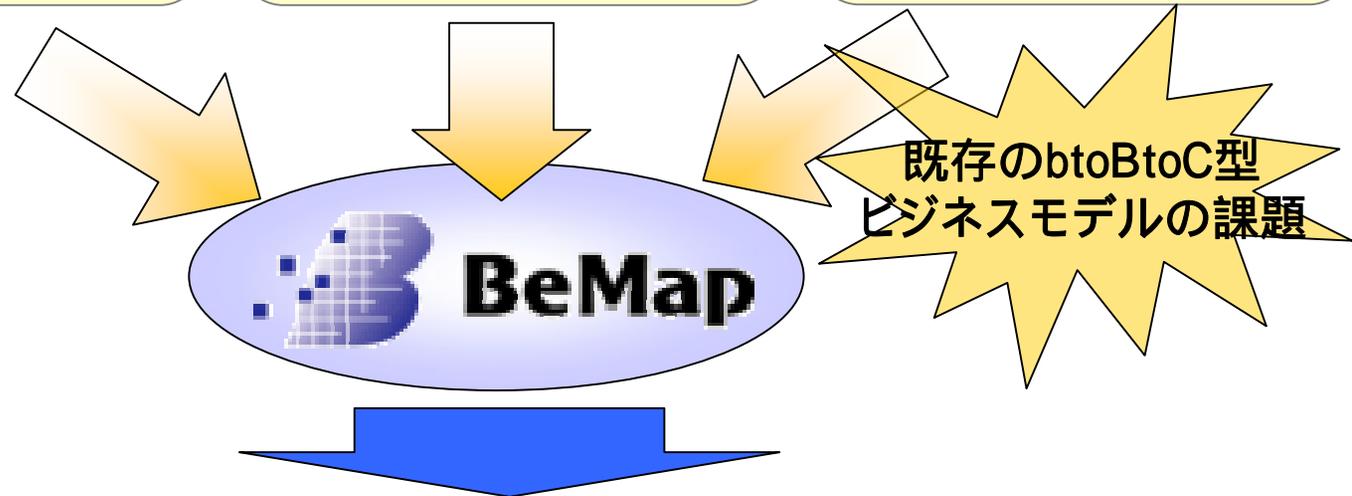
既存分野における 今期の事業戦略

従来ビジネスモデルの課題とこれからの方向性

1. コンシューマー向け携帯サービスの成熟による、市場成長性の鈍化

2. 大手パートナーとの主要取引に伴う、同業他社の開拓に対する制限

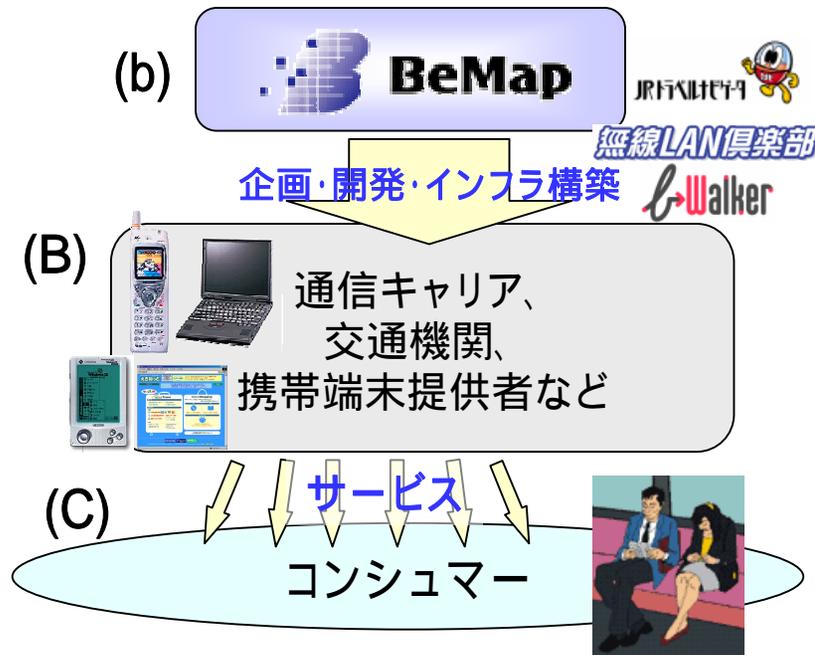
3. 既存の主力事業の利益率の低下、それに伴う損益分岐点の上昇



これまで築き上げた技術・ソフト・企画と、
それを活用したソリューション型業務パッケージの両面展開

2タイプのビジネスモデル

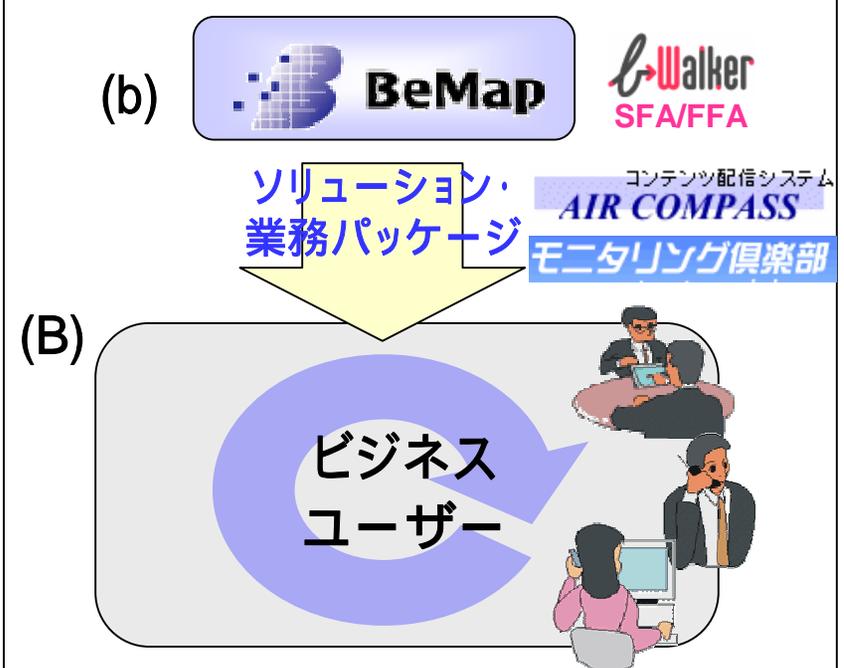
btoBtoC型ビジネス (企画開発運用型)



メリット: 確実な売上・利益

課題: パートナーへの依存、成長性に限界あり

btoB型ビジネス (ユーザー拡大型)



メリット: 自主的営業活動による機会拡大・成長

課題: 新たなリソースの確保(人材、スキル、資金)

位置情報関連事業 b-walker

- ナビゲーションシステムをPDAメーカー、通信事業者に提供。
- ビジネスユーザーにはSFA/FFAパッケージツールとして販売。



ナビゲーション:

NTT - DoCoMo、日本HP、MiTACなどの大手PDAサプライヤーにライセンス提供。

通信事業者:

個人向けナビゲーションソフトとしてバンドル提供。

SFA/FFA ツール:

SFA/FFAツールとして、事業会社へ提供。
業務パッケージとして横展開。

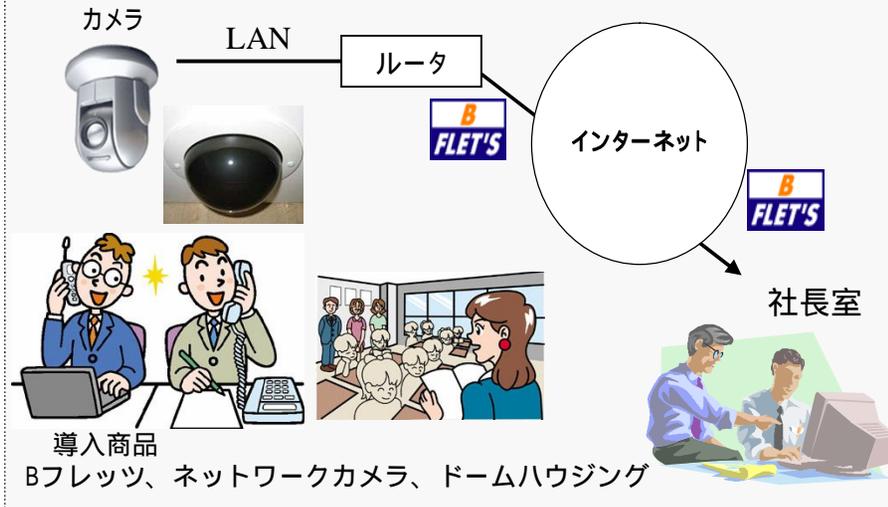
今期の注力

次世代関連事業 モニタリング倶楽部

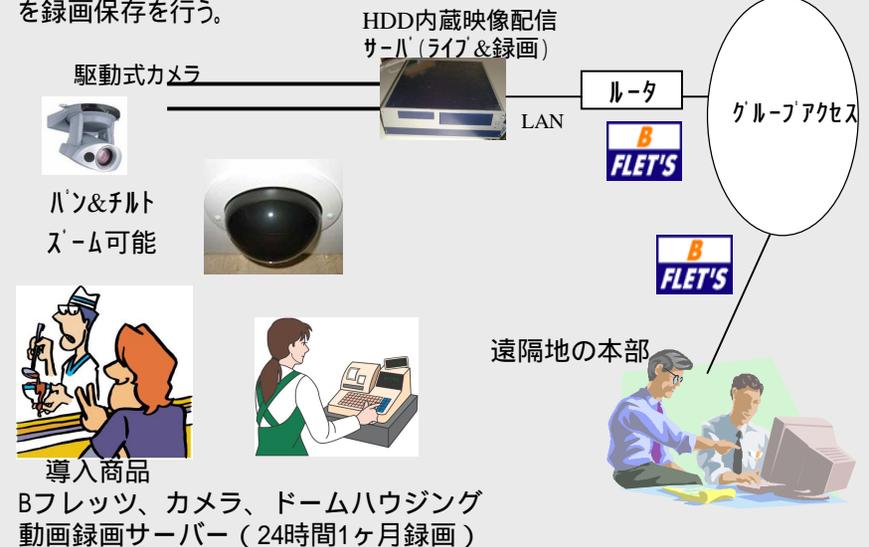
- 動画記録機能を持つ遠隔監視システム「モニタリング倶楽部」を、飲食店、学校などのビジネスユーザーに向けて販売強化。

〔導入事例〕

教室45拠点と職員室5箇所の天井にカメラを設置し、社長室から授業の様子と職員の就業状況を見る。

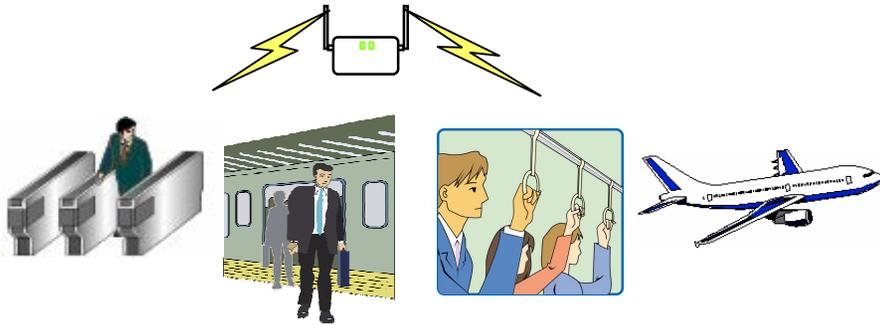


店舗の天井にカメラを設置し、店内の様子や従業員の動きを監視また映像を録画保存を行う。



次世代関連事業 AirCompass/無線LAN倶楽部

- 首都圏、関西圏等人口集中地域においての通勤・通学手段としての鉄道会社駅を通して、コンテンツ等の配信を行う。



無線スポットは駅周辺から航空機・列車内

通信事業者： 前期は2キャリアへ展開。
今期は新たな2キャリアへ展開。

その他： 無線LAN、近距離無線を利用したサービスを他社と共同で開発中。

無線配信のデファクトを目指す！

【新聞・ニュース配信】

ニュース速報をチェックしたり複数社の新聞を購読するなど、幅広い情報収集が可能。文字だけでなく、ニュース映像付きで見られる。



【小説・雑誌・コミック】

縦書きの小説を挿絵や写真つきで楽しんだり、有名紙・雑誌・コミックが読める。



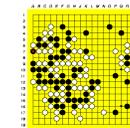
【音楽配信】

カラオケ、音楽試聴などの音楽も楽しめるからPDAをウォークマン代わりとしても使える。



【ゲーム・占い】

ゲームや、占いなど、ちょっとした時間に、携帯ゲーム機としても楽しめるコンテンツ。



【映像配信】

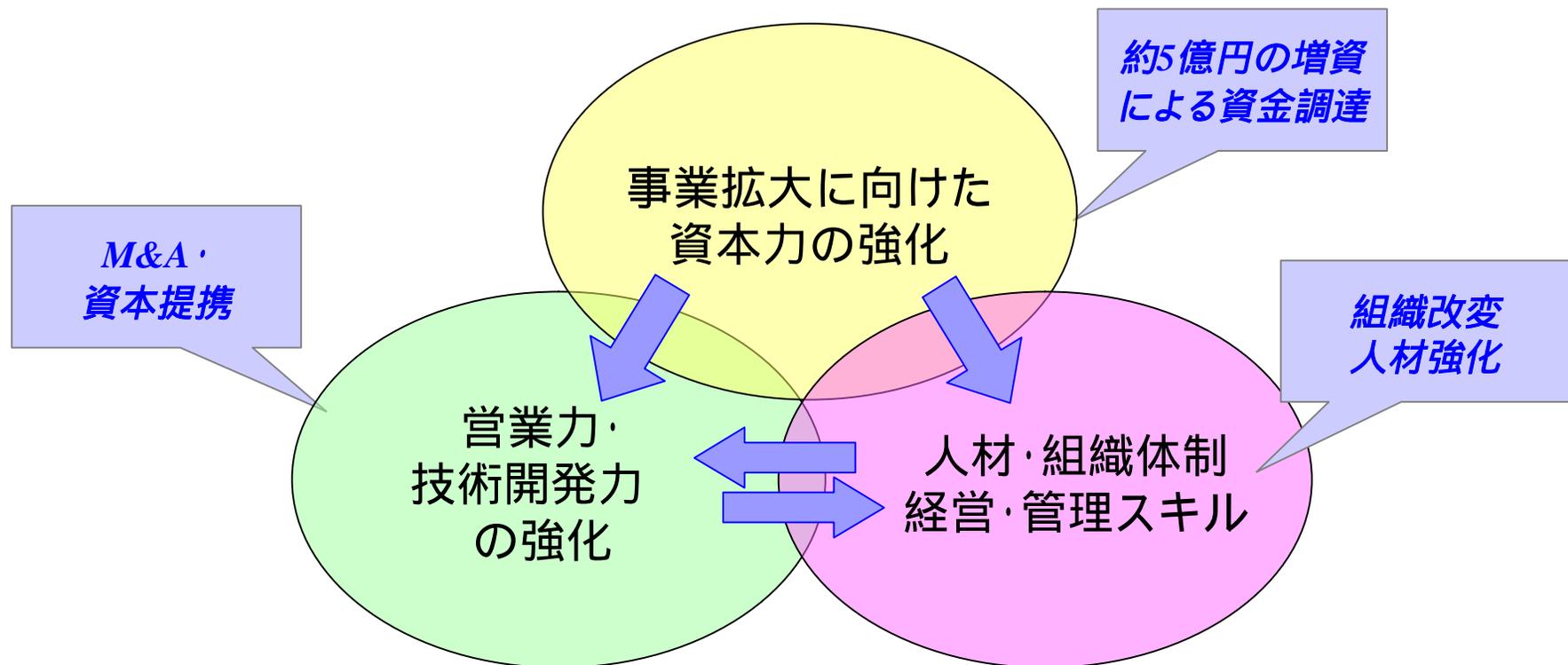
映画、ドラマ予告編などの映像を好きな時に楽しめる。



新規分野における 事業戦略

事業拡大のための3つのドライバーとアクション

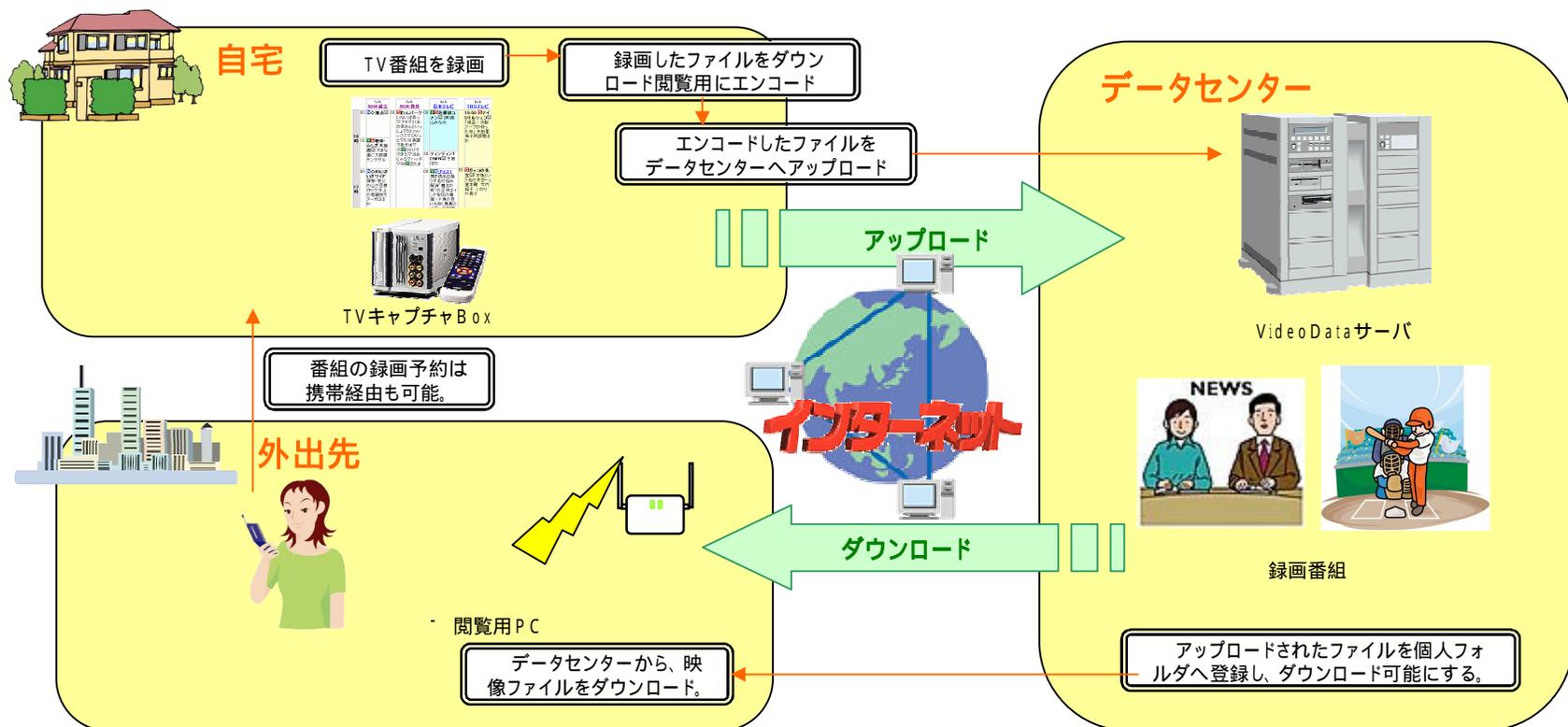
- 既存事業の拡大および新規事業展開のため、増資により約5億円を調達。
- 事業投資に加え、M & Aおよび人材採用を実施し、営業・技術開発力と経営管理スキルを強化。



通勤テレビ(標準機能)

いつでもどこでも・・・高画質TV番組を！

- 録画したテレビ番組を、サーバー経由で携帯電話等にダウンロードし、閲覧可能にするサービス。
- 当社が実用新案取得済み、特許申請中。2005年秋にサービス開始予定。



分野別展開 –メコンプロジェクト–

- 日本政府機関、パートナー企業と協働し、メコン地域に無線LANネットワークインフラ・サービスを提供。
- 将来の世界的な4G・WiMAXの普及を視野に入れ、メコン流域諸国、インドへの本格展開を計画中。



2006年3月期業績予想

- 中核となる3事業での売上達成と新事業への取組みで、売上1,100百万を予想。
- 新規案件への投資を積極的に行いつつ、着実な黒字転換を目標。

(単位: 百万円)

	第7期通期実績 (2004年3月)	第8期通期予想 (2005年3月)	前年同期比
売上高	894	1,100	206
営業損益	1	52	53
営業損益率	-0.1%	4.7%	4.8%
経常損益	5	43	48
経常損益率	-0.6%	3.9%	4.5%
当期純損益	0	32	42
純損益率	0.0%	2.9%	2.9%

売上予想:

- ✓ 位置情報業務パッケージの拡大
- ✓ モニタリング倶楽部の堅調な増加
- ✓ 前下期立上げの新規事業の貢献

収益: 黒字転換

2006年3月期売上構成予想

- btoBtoC案件とbtoB案件の両面展開。
- 3事業 + 新規案件で、安定した売上構成を目指す。

売上高：1,100百万
 経常損益：43百万
 当期純損益：32百万

開発運用案件、
 および新規案件

生活情報
 その他
 27.9%

交通関連
 22.9%

JRトラベルナビゲータを
 中心とした展開

モニタリング倶楽部、
 AirCompass/無線LAN倶楽部、
 および新規案件

次世代
 28.5%

位置情報
 20.6%

b-walkerを中心とし
 た展開

ご質問・お問い合わせ

本日はありがとうございました。

株式会社ビーマップ
〒114-0002
東京都北区王子1 - 6 - 8
社長室 IR担当 (上野、大谷)
TEL 03 - 3919 - 4391 FAX 03 - 3919 - 4435
E-mail: ir@bemap.co.jp

この資料に掲載されている見通し、その他今後の予測・戦略などに関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しの上に全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなされるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようお願い致します。